

滋賀地域交通ビジョン（案） 【本編】

滋賀県

第1章 策定の趣旨	1
1.1 策定の必要性	1
1.2 策定のポイント	2
1.2.1 理念	2
1.2.2 都市計画との整合	3
1.2.3 滋賀県が目指す地域交通のキーワード	4
1.2.4 目指す姿へのロードマップ	5
1.2.5 滋賀県が目指す地域交通の姿の実現に必要な仕組み・システム	7
1.3 ビジョンの策定に当たって	7
1.3.1 住民アンケート・県民アンケート	8
1.3.2 市町アンケート	8
1.3.3 事業者アンケート	9
1.3.4 滋賀の公共交通未来アイデア会議(県民トーク・県民フォーラム)	10
1.3.5 県内主要鉄道駅でのご意見箱設置	15
1.4 その他の検討項目	16
1.4.1 滋賀県基本構想の実現	16
1.4.2 CO ₂ ネットゼロ社会づくりへの寄与	17
1.4.3 ユニバーサルデザインの推進	17
1.4.4 災害時対応	17
1.4.5 北部振興	17
1.4.6 その他県施策との連携	17
1.5 滋賀地域交通ビジョンの基本的事項	18
1.5.1 ビジョンの性格	18
1.5.2 目標年次	18
1.5.3 構成	18
1.5.4 ビジョンの位置付け	18
第2章 滋賀の現状	19
2.1 活用データ・調査の概要	19
2.1.1 統計データ	19
2.2 地域の状況	20
2.2.1 人口	20
2.2.2 運転免許返納者数	22
2.2.3 通学状況	23
2.3 公共交通の状況	25
2.3.1 公共交通サービスレベル(人口カバー率)	25
2.3.2 収支・費用負担状況	27
2.3.3 利用者数の状況	28
2.3.4 運転手の確保の状況	29
2.4 公共交通のニーズ	30
2.4.1 県内住民の公共交通のニーズ	30
2.4.2 県外来訪者の公共交通のニーズ	45
2.4.3 公共交通のニーズのまとめ	48
2.5 広域交通の状況	49
第3章 滋賀の交通をめぐる課題	50

3.1 滋賀の交通をめぐる課題.....	50
3.2 将来の考慮すべき環境変化.....	51
3.2.1 環境変化の要素.....	51
3.2.2 環境変化を踏まえた将来の動向.....	63
3.2.3 環境変化を踏まえた将来の検討事項.....	66
第4章 滋賀県が目指す地域交通の姿.....	67
4.1 滋賀県が目指す地域交通とは.....	67
4.2 各地域公共交通計画が掲げる課題・現状.....	68
4.3 地域分類の設定.....	70
4.4 滋賀県が目指す地域交通の姿.....	72
第5章 目指す姿を実現するための施策例.....	74
5.1 県域指標と地域指標の考え方.....	74
5.2 全ての県民に保証すべき移動目的の設定.....	75
5.3 地域指標例の設定.....	82
5.3.1 他都市の事例.....	82
5.3.2 地域分類別の現状・ニーズ.....	86
5.4 地域指標を踏まえたギャップ分析.....	94
5.5 地域分類別の目指す姿を実現するための施策例.....	106
第6章 施策推進に向けて.....	107
6.1 財源や整備手法の検討.....	107
6.2 目指す姿の達成に必要な費用の試算.....	116
第7章 まとめ.....	125

第1章 策定の趣旨

1.1 策定の必要性

地域交通は、福祉、教育、観光、企業誘致、さらには CO₂ ネットゼロ社会の実現など社会を支える土台であるとともに、誰もが自由に、かつ安全に移動し、社会活動への参画や人との交流のために必要な、欠かすことのできない重要な社会インフラであると言えます。

しかし、人々のライフスタイルの変化、人口減少、近江鉄道線の事業継続の課題、**JR 線の減便**、新型コロナウイルス感染症の拡大、北陸新幹線等の広域交通の整備、自動運転や MaaS 等の新技術の発展等、本県の地域交通を取り巻く状況は大きく変化しています。

「滋賀地域交通ビジョン」（以下、「本ビジョン」といいます）は、県民の日々の生活に密着した「地域交通」に特に焦点を当て、さまざまな社会情勢の変化に対応した持続可能な交通ネットワークの維持・活性を目指すことを目的として策定するものです。

【近年の本県の交通政策に関わる主な外部環境の変化】

- ・滋賀県人口が、H25 の 142 万人をピークに減少に転じる
- ・近江鉄道線の事業継続が課題として浮上
- ・**JR 線の減便**
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
 - ⇒利用者の減少、**公共交通の担い手不足や高齢化**に加え、コロナ禍により交通事業者の経営環境は極めて悪化しており、このままでは地域交通の維持は困難
- ・**自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限規制（2024 年問題）**
- ・北陸新幹線敦賀以西について、小浜京都ルートが与党決定
 - ⇒広域交通施策の方針を自治体が単独で決めることは困難。広域交通施策に対する県の関わり方を整理し、取り組んでいくことが必要
- ・自動運転、MaaS 等の新しい技術・仕組みの開発
 - ⇒エリア内のさまざまな交通サービスの検索・予約・決済を一括で行う MaaS が世界で実用化。（例えばフィンランドの企業が 2016 年にアプリ「Whim」を開発）
- ・自動車大手が 2020 年代に自動運転の実用化を表明
 - ⇒（トヨタ：2020 年代前半。ホンダ：2025 年ごろをめぐりにレベル 4 技術確立）

県民の日々の生活に密着した「地域交通」に特に焦点を当て、社会情勢の変化に対応した、持続可能な交通ネットワークの維持・活性を目指し、ビジョンを策定

1.2 策定のポイント

1.2.1 理念

本ビジョンでは、公共交通を「民間事業者や自治体等により供給され、旅客運送契約のもとで誰もが利用できる運送サービス」、地域交通を「乗合バス、タクシー、鉄道等の公共交通に加え、カーシェアリングや自転車等、日々の生活に密着した日常的な移動を支える移動手段」と定義します。

地域交通は、個人レベルでは、外出することによって、身体的活動とコミュニケーションの機会を創出することで、身体的・精神的な健康の増進に寄与します。社会レベルにおいては、教育、福祉、産業、観光など、人々の活動の基盤となります。また、地域交通の積極的な活用により、CO₂ネットゼロの推進など環境に配慮した暮らし方や、地域の経済的・社会的活力を生み出すことにも繋がり、本県が進める「健康しが」の取組みに必要不可欠です。

こうした活動により「交わり、つながる」という人間の根源的欲求を満たし、人々の幸せを支え、地域の文化を育み、滋賀らしい社会の実現を目指します。

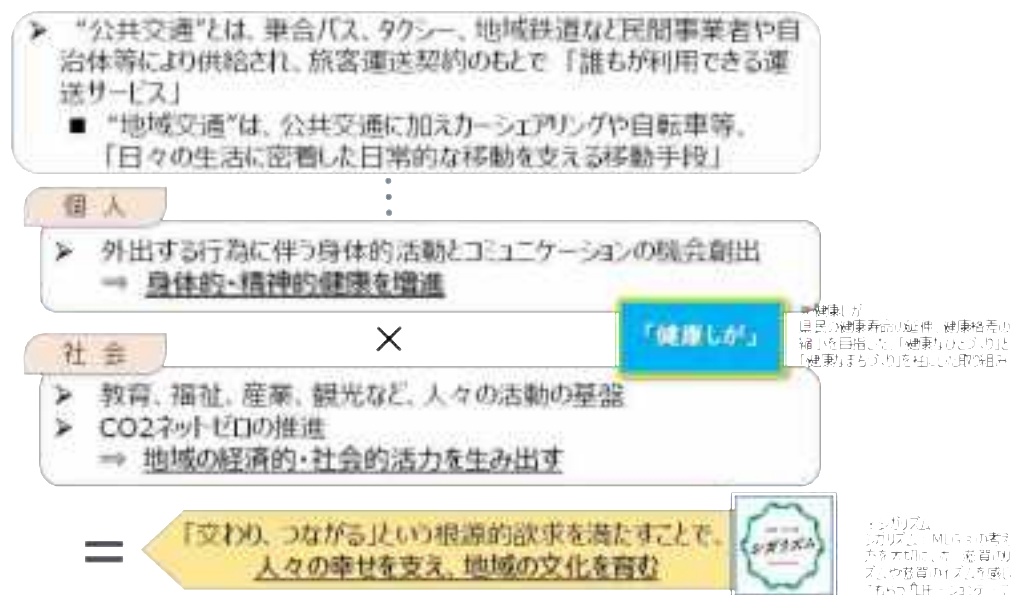


図 1.1 理念のイメージ図

本ビジョンにおいては、人々のニーズに応じた移動サービスを提供する地域交通は欠かすことのできない社会インフラと位置づけます。地域交通は、営利事業のみならず公共サービスの供給という側面を持つことから、国、自治体、住民、**企業**、交通事業者が地域交通の維持等に一定の責務を負うものとします。

自治体は地域における総合的な交通政策の立案・実施を、**住民や企業は自治体の施策への理解と協力および地域交通の積極的に利用する責務を担う**。交通事業者は自治体とともに施策を展開し公益的主体として社会インフラである地域交通の維持・管理を行う責務を担うものとします。

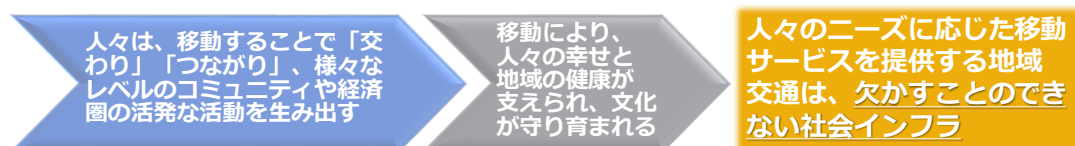
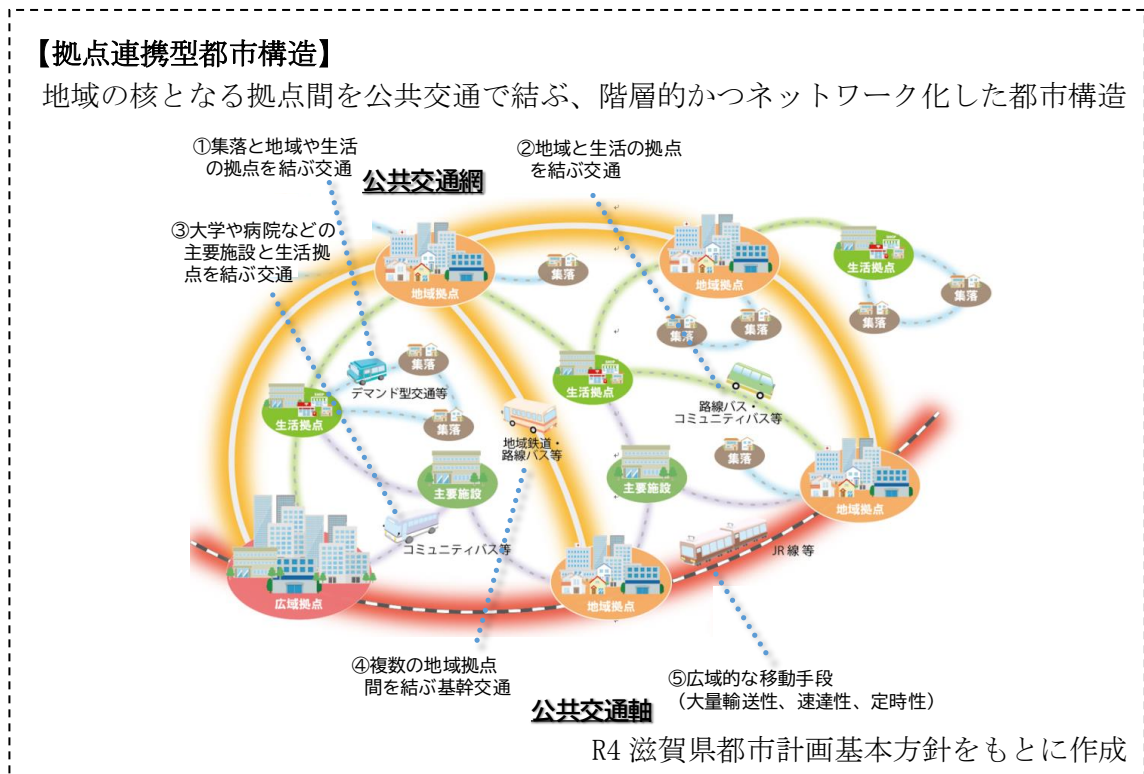


図 1.2 地域交通の位置づけ

1.2.2 都市計画との整合

本県では令和4年3月に滋賀県都市計画基本方針を策定しました。この基本方針の中で示された、地域の核となる拠点間を公共交通で結ぶ、階層的かつネットワーク化した都市構造である「拠点連携型都市構造」の実現に向けて、広域拠点と地域拠点、地域拠点と生活拠点等を結ぶ地域交通ネットワークの構築を目指します。

広域拠点と地域拠点間については、広域移動手段である鉄道線や市町間をまたぐ幹線路線バスを活用します。地域拠点と生活拠点・集落間については、住民に最も身近な交通手段である地域内路線バスやコミュニティバス、タクシー、デマンド交通等を活用し交通空白地の解消や交通不便地の改善につなげていきます。その結果、規模の異なる多様な拠点間を公共交通ネットワークで結ぶことで、医療・福祉、教育、商業、防災等の都市機能を補完しあうことが可能となります。また、拠点に都市機能や居住を誘導し、人口集積が高まることで、公共交通の利用者が増加し、公共交通の利用促進・利便性の向上が可能となります。これら都市計画と公共交通の連携した取組により好循環が生み出され、持続可能で質の高い都市構造が形成されます。



<p>公共交通軸</p> 	<ul style="list-style-type: none"> JR線、近江鉄道線、京阪奈準線、信濃高原鉄道線 大量輸送性、速達性、定時性に優れ、広域移動手段である鉄道線を「交通軸」として最大限活用 市町間をまたぐ幹線路線バス 鉄道を補完する、主に東西方向の広域移動手段として活用
<p>公共交通網</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 地域内路線バス 住民に最も身近な交通手段であり、様々な運行ニーズに対応できる路線バスを、「交通網」の主たる担い手として最大限活用 コミュニティバス、タクシー、デマンド交通等 路線バスを補完する、交通空白地の解消や、交通不便地における交通手段として活用

図 1.3 公共交通軸・公共交通網の位置づけ

1.2.3 滋賀県が目指す地域交通のキーワード

本ビジョンでは、下記に示す各要素から、2040年代を見据えた「滋賀県が目指す地域交通の姿」と、それが実現した「滋賀の社会」を、地域分類ごとに具体的に描きます。その描いた目指す地域交通の姿を県民、交通事業者等と共有し、実現に向けて連携していきます。

【滋賀県が目指す地域交通の姿の要素】

①未来予測

- ・人口動態（人口減少＋少子高齢化）
- ・技術進歩（通信、破壊的テクノロジー）：高速大容量、低遅延、多数同時接続
- ・社会情勢（環境、エネルギー、経済、新しい世代の価値観）

②滋賀県の戦略（シガリズム）

- ・SDGs、MLGs：歴史・思想・ブランド戦略、健康政策、水資源
- ・滋賀県らしさ：京都・大阪とは違う価値の提供。無理のない、身の丈にあったサービスレベル
- ・人間の**根源的欲求**

③地域交通によって、「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる」社会

- ・渋滞緩和など、公共交通を使わない人にとってもメリットが感じられる
- ・交通不便地（自家用車以外の移動手段確保。皆で支える地域）
- ・都市部（自家用車と遜色ない移動環境を実現。投資効果が見込まれる地域）
- ・新たなモビリティ、システム：自動運転、マイクロモビリティ、MaaS、サブスクリプション、エリア同一運賃

④その他キーワード

- ・統合的政策（環境・福祉など様々な施策との連携）
- ・淡海ユニバーサルデザイン行動指針
- ・シビルミニマム（サービス水準と費用負担）
- ・トークンエコノミー（**デジタル地域コミュニティ通貨** ビワコ）

1.2.4 目指す姿へのロードマップ

1) 指標の設定

(1) 指標の設定

目指す姿の実現に向けて、公共サービスとしての地域交通について、適正な水準、効率化の観点も考慮して指標を設定します。県内の人口分布や生活スタイル等が異なることから、地域特性に応じた指標例もあわせて検討します。

こうした指標を達成することで、自家用車を運転できない（しない、持たない）人でも、地域交通によって目的に応じた移動が実現し、自家用車も含めた移動のベストミックスにより「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる」社会へ進めていきます。

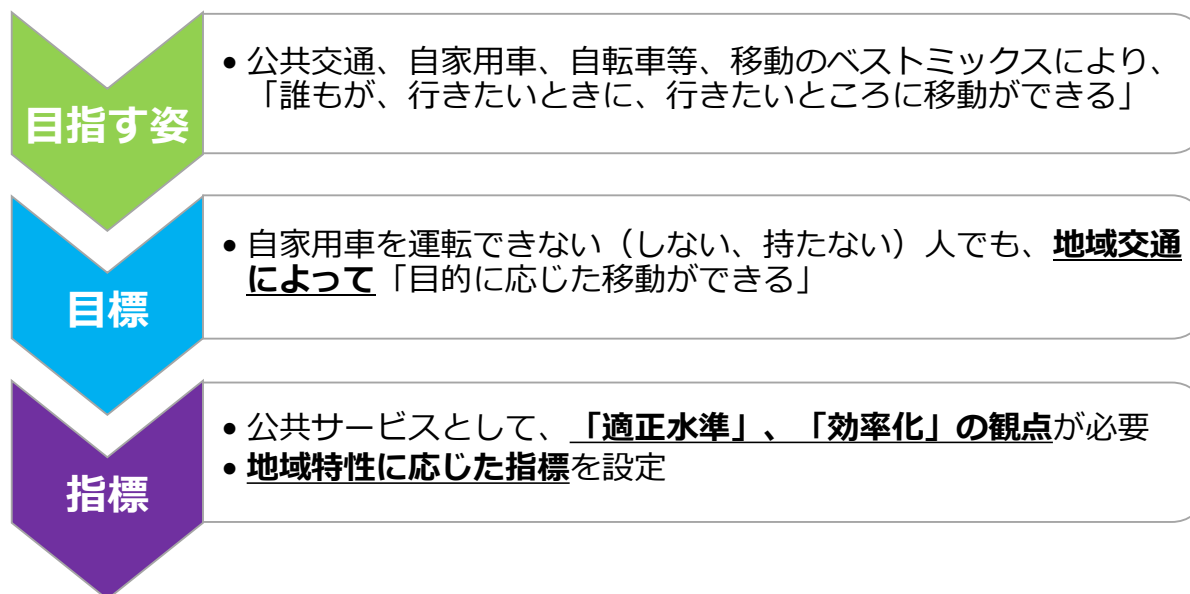


図 1.4 滋賀県が目指す地域交通の姿へのロードマップ

(2) 県域指標・地域指標の関係性

指標は県域指標と地域指標の2つの指標を設定します。「県域指標」はすべての県民に保証すべき（生活に不可欠な活動）「移動目的」として設定します。「地域指標」は、日用品以外の買い物・観光等生活に不可欠ではないものの、豊かな生活のために必要な移動目的の達成に向けた指標とし、地域の実態に応じて検討を進めます。また少子高齢化の進展等、将来の地域交通を取り巻く環境変化を見据え、利用者と効率化の観点から指標の設定を検討します。本ビジョンではこの「地域指標」は例示で示し、各地域公共交通活性化協議会での具体的な指標設定を促していきます。

(3) ギャップ分析

地域指標・目指す姿と現状の地域交通のサービスレベルとのギャップを分析し、課題を抽出します。また、抽出した課題の解決に向けた施策を、全国・海外の先行事例を踏まえ事例集として整理します。

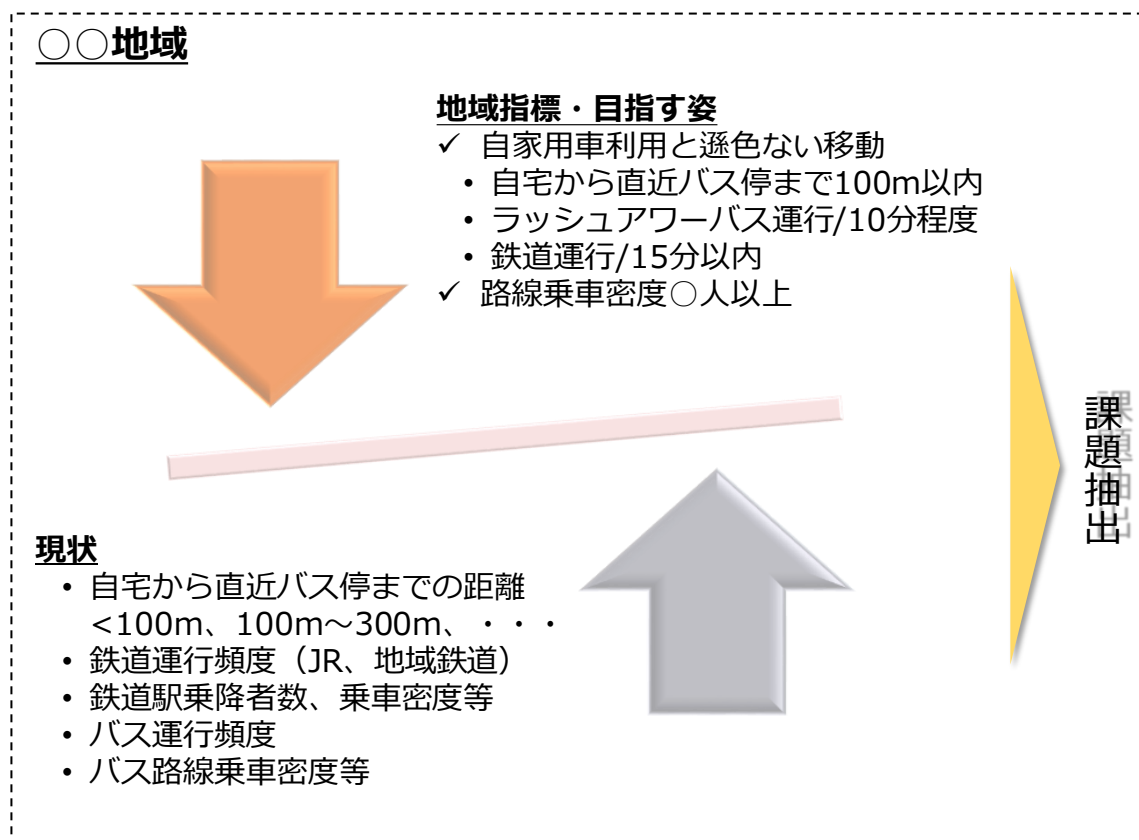


図 1.5 ギャップ分析のイメージ

表 1.1 施策例イメージ

課題	施策例
a) 鉄道、バスの運行本数が少ない	鉄道およびバスダイヤの調整
	域内交通ネットワークの強化
	・需要が見込めるバス路線の運行頻度増加
	・地域の輸送資源によるバス路線の補完
b) 交通空白地が存在	デマンド交通の導入
	シェアモビリティの検討
c) 効率化	定時定路線のデマンド化
	平均輸送密度に応じたダウンサイジング

1.2.5 滋賀県が目指す地域交通の姿の実現に必要な仕組み・システム

地域交通を「知らない、乗らない、（一時乗っても）続かない」状況から「乗ってみたいくなる」「今度も乗ろう」と利用者に思われるような状況への転換を図るため、キャッシュレス、ロケーションシステム、MaaS、バリアフリー化等利便性向上の取組み、利用ポイント、サブスクリプション等利用促進策を進め、「楽しい移動手段」とすることで利用者の増加による事業者の収益増を目指します。こうした目指す姿の実現に必要な仕組み・システムを構築することで、自動運転等の新たな技術への投資を促し、より利便性の高い地域交通の実現へと繋がります。

社会状況の変化等からもはや地域交通を利用者負担のみで維持することは困難であり、地域交通は営利事業のみならず、公共サービスの供給という側面を持つことから自治体は生活に必要な路線の維持に一定の責務を負うと考え、地域交通の維持・活性化のための負担のあり方についても検討します。

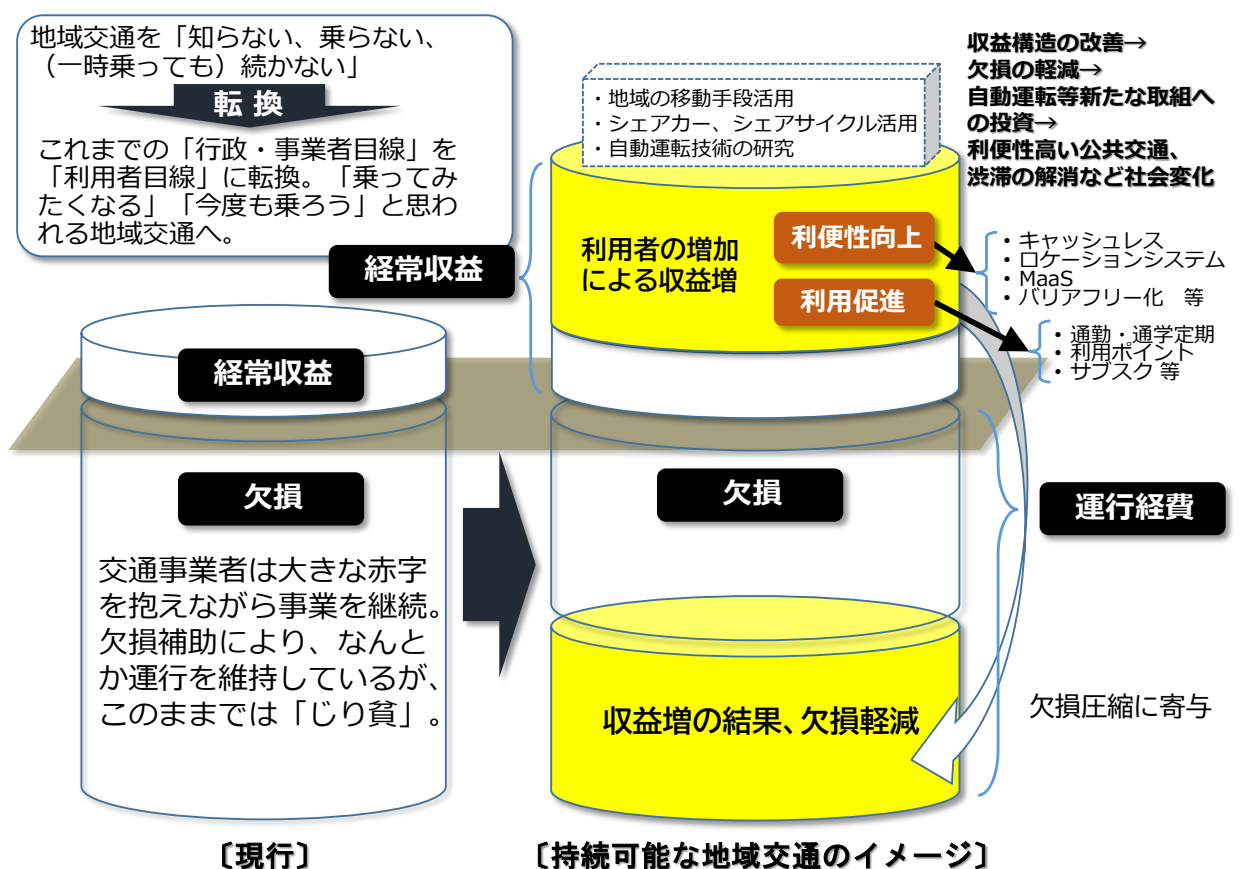


図 1.6 滋賀県が目指す地域交通の姿の実現に必要な仕組み・システムのイメージ

1.3 ビジョンの策定に当たって

本ビジョンの策定は、「公論熟議」、「民公共創」、「維持・活性」の3つをキーワードに、住民・県民等に対するアンケート、「滋賀の公共交通未来アイデア会議」、県内主要駅でのご意見箱設置など、様々な手段により、県民や交通事業者、市町等との対話等を重ね、「理解と共感」の醸成に取り組みながら進めました。

1.3.1 住民アンケート・県民アンケート

タイトル	: 公共交通の現状および意向に関するアンケート調査
実施時期	: 令和4年10月11日(火)～令和4年10月31日(月)
実施内容	: 滋賀県内の住民を対象とし、以下内容を把握 1.回答者属性 2.県内で利用する公共交通の状況 3.公共交通の現状に対する認識 4.新たな費用負担に対する意向 5.公共交通に求めるサービス水準 6.公共交通サービス向上に向け、必要な取組 7.自動車から公共交通への転換に向けた意向
実施媒体	: ①住民アンケート（郵送・WEB） ※無作為に抽出した県内各市町 350 世帯、計 6,650 世帯対象 ②県民アンケート（WEB） ※滋賀県 HP に二次元バーコード掲載
回収数	: 計 2,997 通 (①住民アンケート（郵送・WEB）の回収率 40.6%)

表 1.2 回収状況

実施媒体	回収数	回収率
①住民アンケート（郵送・紙）	1,941	40.6%
①住民アンケート（WEB）	762	
②県民アンケート（WEB）	294	-
合計	2,997	40.6%

1.3.2 市町アンケート

タイトル	: 公共交通の役割に関するアンケート
実施時期	: 令和4年11月18日(金)～令和4年12月2日(金)
実施内容	: 各行政分野*に関する移動の役割を担うバス交通または地域鉄道があるエリア、バス交通や地域鉄道が現在運行されていることで実施せずに済んでいる対策・抑制できている懸念事項
実施媒体	: メール
回収数	: 19 通（回収率 100%）

※「地域公共交通 赤字＝廃止でいいの？(近畿運輸局)」の「地域公共交通地域が廃止された場合に追加的に必要となる主な行財政負担項目」の12分野を採用

1.3.3 事業者アンケート

タイトル	: 公共交通の現状および意向に関するアンケート
実施時期	: 令和4年9月21日(水)~令和4年10月7日(金)
実施内容	: 県内路線バス事業者20社、地域鉄道(近江鉄道、京阪電気鉄道、信楽高原鉄道)3社の合計23事業者を対象とし、以下内容を把握 1.交通事業の現況 2.事業運営における懸念事項 3.該当路線の対策検討の有無および内容 (対策が必要だと考えている路線の対策内容・必要条件等把握) 4.サービス向上に向けた取組への意向 5.新技術の導入意向
実施媒体	: メール
回収数	: 14通(回収率60.9%)

1.3.4 滋賀の公共交通未来アイデア会議(県民トーク・県民フォーラム)

1) 概要

目指す地域交通の姿等について、県民の意見やアイデアをいただく活動として「滋賀の公共交通未来アイデア会議（「県民トーク」、「県民フォーラム」）を開催しました。

イベント		県民トーク				県民フォーラム
形式		<ul style="list-style-type: none"> 職員が各施設へ出向き、タブレットを持って「将来の公共交通として求めるレベル」、「公共交通の問題点や課題」、「費用負担の方法の意向」等をアンケート形式で来訪者と対話 時間のある方には動画「SHIGA SMART ACCESS 2040S」を視聴いただき、公共交通の課題を解決するための望む施策」等についても意見聴取 				<ul style="list-style-type: none"> 県民トークの結果等を踏まえ、県民同士でも意見交換する
開催地	地域分類	①	②	③	④	①
	エリア	湖南	湖東	甲賀	湖西	湖南
	施設種類	病院	商業施設	商業施設	道の駅	商業施設
	名称	滋賀県立総合病院(ロビー)	イオンタウン彦根	アル・プラザ水口	道の駅くつき新本陣	イオンシネマ草津
主なターゲット層		通院患者およびその家族	若年層 ファミリー層	ファミリー層 車利用者	車利用者	県民全体 (WEB 併用)

※県民トークは上記4箇所とは別に県内市役所・町役場庁舎でも実施（全19回）

※その他、高校生、大学生、交通事業者とも対話を実施

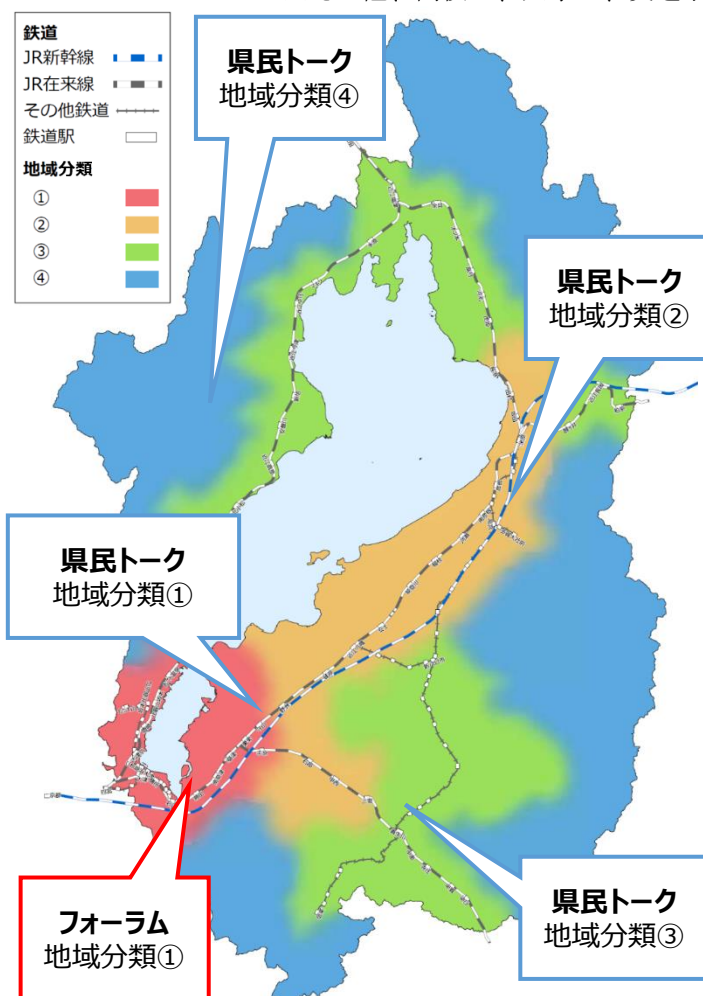


図 1.7 県民トーク・県民フォーラムの実施内容

2) 県民トーク実施結果

実施時期	: 令和5年7月18日(火)～令和5年10月28日(土)						
実施内容	: 属性、公共交通の利用状況、必要性に対する意向、費用負担意向等を把握						
実施形式	: ①県民トーク（対面） ※滋賀県内各地で施設訪問者に対し、アンケート形式でヒアリングを実施 ②県民フォーラム（対面+WEB） ※イオンシネマ草津を会場に、参加者がアイデアを共有するフォーラムを開催 ③アンケート（WEB） ※ポスター・チラシ上に二次元バーコード掲載						
アンケート回収数	: <table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>1,006名</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>351名</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>235通</td> </tr> </table>	①	1,006名	②	351名	③	235通
①	1,006名						
②	351名						
③	235通						
県民トーク実施場所	: 県内19市町役場、道の駅くつき新本陣、アル・プラザ水口、イオンタウン彦根、滋賀県立総合病院						



図 1.8 ポスター(県民トーク・県民フォーラム)

表 1.2 県民トーク回答数(県内4箇所)

日時	場所	回答数
7/30(日) 8:00~12:00	道の駅くつき新本陣	101
8/9(水) 10:00~17:00	アル・プラザ水口	54
8/11(金) 10:00~17:00	イオンタウン彦根	74
8/25(金) 9:00~16:00	滋賀県立総合病院	71
合計		300

▼道の駅くつき新本陣 ▼アル・プラザ水口



▼イオンタウン彦根



▼滋賀県立総合病院



図 1.9 対話状況

表 1.3 県民トーク回収数(県内市役所・町役場庁舎)

日時	場所	回答数
7/18(火)9:00~16:00	守山市役所	54
7/25(火)9:00~16:00	長浜市役所	54
7/27(木)9:00~15:00	甲良町役場	22
8/1(火)9:00~16:00	東近江市役所	50
8/3(木)9:00~16:00	甲賀市役所	51
8/8(火)9:00~15:00	竜王町役場	18
8/22(火)9:00~16:00	愛荘町役場	18
8/24(木)9:00~16:00	米原市役所	37
9/5(火)9:00~16:00	近江八幡市役所	56
9/7(木)9:00~16:00	栗東市役所	30
9/19(火)9:00~16:00	高島市役所	41
9/20(水)9:00~16:00	草津市役所	41
10/10(火)9:00~16:00	大津市役所	41
10/12(木)9:00~16:00	湖南市役所	24
10/17(火)9:00~16:00	日野町役場	18
10/18(水)9:00~16:00	彦根市役所	39
10/19(木)9:00~16:00	野洲市役所	29
10/24(火)9:00~16:00	多賀町役場	14
10/26(木)9:00~16:00	豊郷町役場	17
合計		654

※その他県内高校など 計52件

3) 県民フォーラム実施結果

実施日時	: 令和5年10月28日(土) 13:00~15:00 (12:30開場)
実施場所	: イオンシネマ草津
実施形式	: 対面 (上限300人) +WEB ※オーディエンスインタラクシジョンツール「Slido」を活用し、対面・WEBともに参加者からの意見を募集集約
参加者数	: 計351名 (対面253名、WEB98名)



図 1.10 ポスター(県民フォーラム)



図 1.11 県民フォーラム実施状況

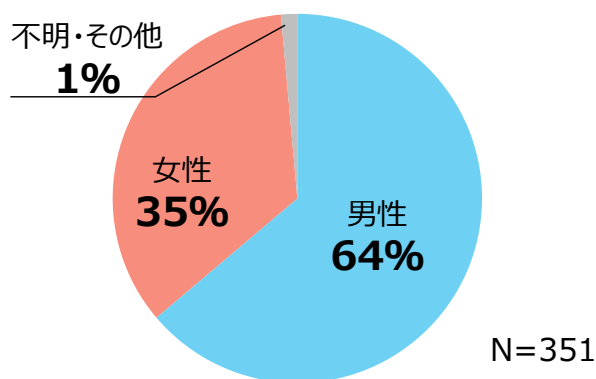


図 1.12 参加者属性(性別)

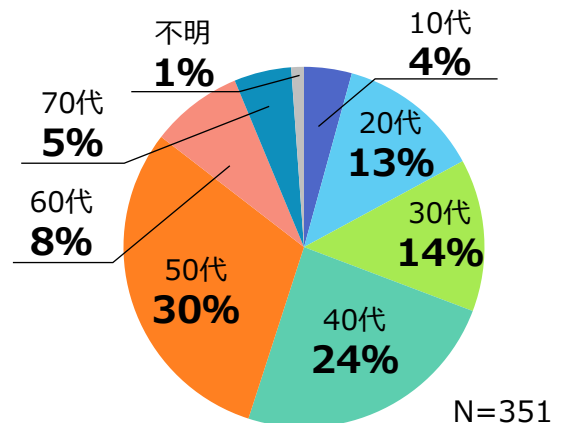


図 1.13 参加者属性(年代)

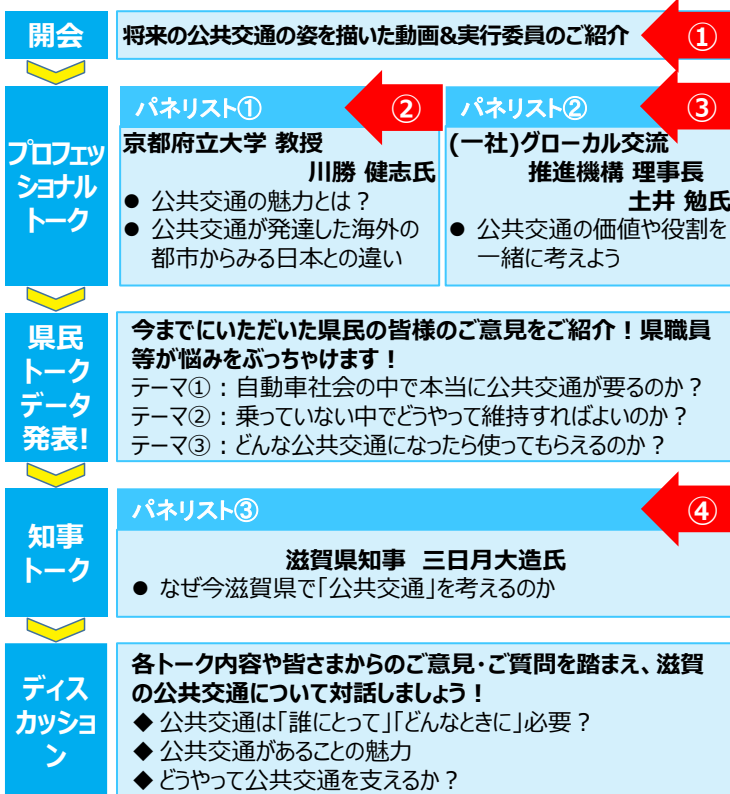


【Slidoを用いた意見募集】

- Slidoとは：二次元バーコードからスマホでいつでも匿名で回答出来るシステム
- 常時質問・感想を回答出来る他、発表の合間に投票を行い登壇者と聴衆の対話に寄与

図 1.14 Slido の使い方説明スライド

▼ 進行の流れ



▼ Slido質問項目

- | | |
|---|---|
| ① | 今日はどの交通手段で会場まで来ましたか？（複数選択可） |
| | 1. 徒歩 2. 自転車
3. バイク(自動二輪・原付) 4. 自動車
5. タクシー 6. バス 7. 鉄道
8. その他 |
| ② | 動画※を踏まえて、あなたが思う将来の公共交通の望ましいレベル |
| | 1. 現状よりもサービスレベルが下がって良い
2. 現状維持
3. 動画までは不要だが今よりもサービス向上
4. 動画と同程度・それ以上のサービスレベル |
| ③ | 公共交通は、誰に・どんなときに必要だと思いますか？（自由記述） |
| ④ | どのような“まち”で暮らしたいですか？そのために、どんな公共交通を望みますか？（自由記述） |

そのほか、フォーラムを通して公共交通に対する質問・疑問やアイデア等自由意見を募集

図 1.15 進行の流れ(県民フォーラム)

※動画：「SHIGA SMART ACCESS 2040s」

滋賀県の 2040 年代における理想的な交通の将来像のイメージを共有するため、地域 4 分類別に描いた動画をアンケート時に再生

▼ 動画キャプチャ（左：都市部（地域①）、右：郊外 2（地域④））

